

日高市立武蔵台小中学校の児童生徒は、外国語(活動)の授業に積極的に取り組んでいる。本年4月から県内2校目の義務教育学校として開校したが、それ以前から小中一貫教育を進めており、昨年度も武蔵台小学校では、英語専科教員と兼務発令で指導に入る中学校英語科教諭、ALTによる授業を積み重ね、話すこと・聞くことを中心に楽しみながら英語に親しんできた。それにより、小学校から中学校の英語授業への移行をスムーズに行うことができている。

本年度は教科担任制により、後期課程の英語科教員が前期課程児童の指導を行っている。さらに、これまで武蔵台中学校では5領域の指導をバランスよく行うとともにコミュニケーション活動を通して積極的な学習態度の育成に取り組んできた。その成果として、埼玉県学力・学習状況調査では、英語の学力は県平均を大きく上回っている。また、学年が上がるほど学力が伸びている。注目すべきは低位層の生徒の学力も伸びていることであり、日々の取組の中にその答えがあると見ている。

しかし一方で、英語学習に困難を感じている児童生徒がいることは事実である。また、コミュニケーションを図る際は、即興的な表現力が求められる。コミュニケーション活動に意欲的に取り組む児童生徒だけではなく、やや消極的な児童生徒も含めて、自信をもって自分を表現しようとする意欲や表現力そのものを高める必要がある。そのためにも、さらなる指導力の向上に努め、個に応じた指導方法の工夫改善を図りたい。また、他地区の学校との情報交換を密にし、地域全体の課題解決に取り組んでいきたい。

【令和4年度】

第2学年 学力レベル(平均)10-C

領域	県平均	本校
聞くこと	67.3	78.0
読むこと	60.6	68.9
書くこと	43.1	46.1

第3学年 学力レベル(平均)11-C

領域	県平均	本校
聞くこと	54.9	64.8
読むこと	62.8	71.4
書くこと	39.8	44.9

【令和5年度】

第2学年 学力レベル(平均)9-C

領域	県平均	本校
聞くこと	62.7	60.0
読むこと	54.7	55.7
話すこと	46.9	50.0
書くこと	35.5	32.8

第3学年 学力レベル(平均)10-B

領域	県平均	本校
聞くこと	56.7	66.7
読むこと	50.4	51.5
話すこと	26.5	21.2
書くこと	48.2	50.5

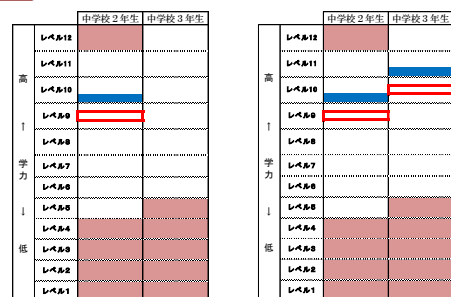
英語

今までの学力の変化

令和4年度

中2

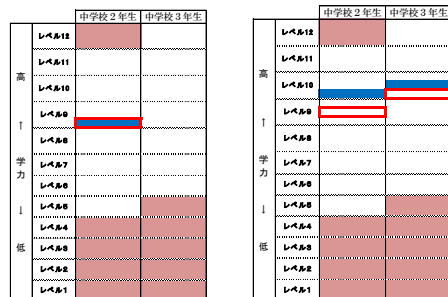
中3



令和5年度

中2

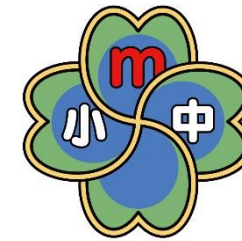
中3



令和5年度埼玉県英語指導方法改善事業

日高市立武蔵台小中学校の取組

「学習者用デジタル教科書の活用」



6年

会話活動の練習としてデジタル教科書を活用する。



現在、一人一台端末は常に児童生徒たちの手元にあり、文房具のように使うことができている。学習者用デジタル教科書を活用して学習を進めるとともに、児童生徒一人一人が自分のペースで学習しながら自身の表現力を高めたり、知識を確認したりする活用方法を充実させていく。

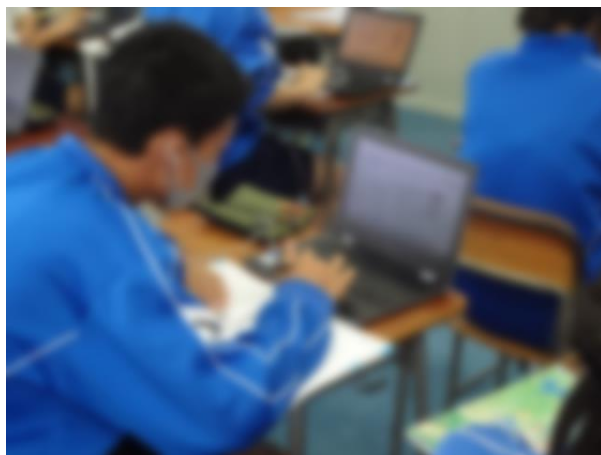
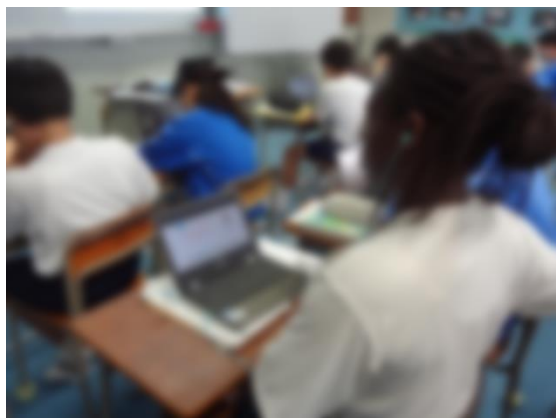
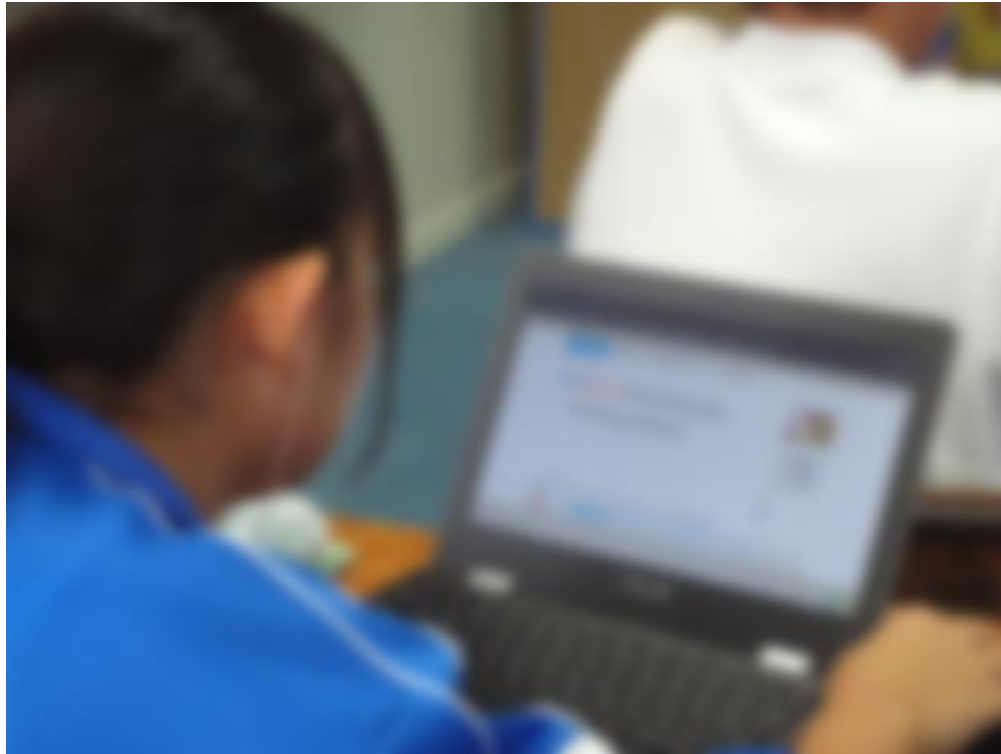


特に前期課程においては、話すこと・聞くことを中心に「話すこと(やりとり)」の活動を積み重ねることにより、英語を話すことに慣れさせ、英語に対する興味・関心を高めるとともに、発達段階に応じて身に付けるべきことを確実に指導していきたい。

スムーズに会話活動へ

8年

学習者用デジタル教科書を使って、読む練習をする。



学習者用デジタル教科書によって、それぞれの能力に応じて読む力を高めることができる。イヤホンを使って読み方を繰り返し確認したり、文字の色が変わっていくのにスピードを合わせて読んだりすることができる。日本語訳も必要に応じて表示される。

義務教育学校としての「小中一貫英語指導」

①小学校（前期課程）授業で英語の歌を歌うことを中学校（後期課程）でも継続している。

②中学校の英語科教員が小学校の授業を担当し、その専門性を生かして外国語の授業を行っている。発問や指示も英語で行い、中学校の授業にスムーズに移行できるようにしている。



中学生が会話活動のデモンストレーションをすることや、小学生と中学生が会話活動で交流することも計画している。